

学級活動指導案

指導者 広島市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成22年11月〇日
- 2 学 年 第1学年〇組
- 3 題材名 「1ねん〇くみのマークをつくろう」

4 題材設定の理由

○ 題材観

本学年では、学年目標を「㊦なしをよくきこう・㊧いさつをすすんでしよう・㊨もだちとなかよくしよう」とし、学年及び学級としての取組を進めてきている。しかし1年生の子どもたちにとって、学年目標を常に意識しながら活動していくことはまだ難しく、また仲間意識もまだ十分とは言えない。

そこで、後期のスタートとともに、学年目標をもとにして日々の生活のめあてを子どもたちと決め、帰りの会で生活のめあてが達成できたかどうかを振り返る活動に取り組んでいる。その中で、生活のめあてが十分に達成できた日には、集団への評価として「㊦㊧㊨のクローバー」（教室後方の掲示板）にハートマークを貼り、目標達成の足跡を視覚的に残すことにした。

本題材の「1ねん〇くみのマークをつくろう」は、学級という共に学習や生活を行う仲間を意識し、自らの思いや願いを込めたクラスのシンボルマークを作る取組である。子どもたちが仲間を意識し、楽しい学級生活を目指してクラスのマークを作ることで、子どもたちに育ちつつある仲間意識や学級への所属感を高めていくことができると考えた。この時期、本題材に取り組むことは、「㊦㊧㊨のクローバー」の取組で集団を意識し始めてきた子どもたちにとって、「学級」を意識付けるうえで重要な役割を果たすと考える。さらには、学級活動や児童会活動等を中心に、友達とかかわり合い互いに認め合いながら活動することを通して、子どもたちに活動に対する自信をもたせることができると考え、本題材を設定した。

○ 児童観

本学級の子どもたちは明るく素直で、何事にも意欲的に取り組む子が多い。係や当番活動も、自分の仕事に対して責任をもって行おうとする。

入学して半年、様々なことに意欲的に取り組んできた子どもたちは、学校生活にもしっかりと慣れ、人間関係の輪も広がってきている。友達が困っていると、すぐに誰かが言葉を掛けたり助けようとしたりする姿がよく見られるようになってきた。しかし、中には興味を引かれたことに夢中になり、自分がやるべきことをせずに周囲に迷惑をかけてしまう子どもや、自分の思い通りに振る舞おうとして周囲とトラブルを起こしてしまう子どももいる。そうした仲間に対して、言葉を掛けて一緒に頑張ろうとする子どもがいる反面、自分はきちんとやるものの言葉掛けをしない子どももおり、仲間意識や所属感を高めることが今後の課題である。

話し合う場面では、自分の思いをしっかりともちることができた時には積極的に発表できるようになってきている。しかし、全体の場で発表することに抵抗感をもつ子どもや、集中して話を聞くことができにくい子どももいる。

○ 指導観

指導に当たっては、まず、クラス写真を提示して視覚的にも「クラスの仲間」を捉えさせることで、仲間を意識してこれからどのようなクラスにしていきたいか、子どもたちの思いをしっかりと出させたい。そして、その思いを常に意識しながら活動していくことへとつながるよう、クラスのマークを作る活動へと広げたい。

話し合う場面では、クラスのマークを提案した子どもたちに提案の理由をていねいに説明させることで、周りの子どもたちがその提案理由をじっくりと聞くことができるようにさせたい。また、二人組で考えを交流する時間を設けることで、発表への抵抗感を和らげ、全員が主体的に話し合い活動に参加することができるようにしたい。

5 題材の目標

クラスのマークを作る活動を通して、仲間意識や所属感を高めるとともに、楽しい学級生活を築こうとする。

6 題材の観点別評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級生活を楽しくするために学級の仲間に関心を持ち、進んで学級のシンボルマークづくりに取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、クラスのシンボルマークについて考え、自分なりに判断し、仲よく助け合って活動に取り組んでいる。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本が分かっている。

7 指導と評価の計画

次	時	活動内容	具体的な評価規準・(評価方法)
一	1	○ 学級生活を楽しくするために、クラスのマーク作りに臨む。	【関】学級の仲間に関心を持ち、クラスのマーク作りに取り組もうとしている。(観察)
	2	○ 学級の仲間を意識して、思いを込めたクラスのマークを考える。(帰りの会などで)	
二	1	○ クラスのマークを決める学級会を開き、話し合う。【本時】	【思】学級生活を楽しくするために、クラスのマークについて考え、自分なりに判断している(観察)
	2	○ みんなの思いを込めたクラスのマークのもとに、〇〇まつり(児童会活動)にみんなで取り組む。	【思】学級生活を楽しくするために、クラスのマークのもとで、仲よく助け合い〇〇まつりに参加している。(観察)
三	1	○ クラスのマーク作りと〇〇まつりの取組を振り返る。	【知】みんなで学級生活を楽しくしていくこと大切さや、学級の仲間として話し合うことの基本が分かっている。(観察・振り返りシート)

8 本時の目標

学級生活を楽しくするために、クラスのマークについて考え、自分なりに判断することができる。

9 本時の展開

学習活動	予想する児童の反応	教師の支援	評価（方法）
1 本時のめあてを確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス写真を提示して視覚的にも「クラスの仲間」を捉えさせる。 	
<p>1 ねん〇くみのマークをきめよう！</p>			
2 クラスのマークについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○1 ねん〇くみのマークはどのようながいいかなあ。 ○このマークには「みんな仲よく」の気持ちがかもっているなあ。 ○わたしは〇〇がいいと思います。わけは、～～だからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期から取り組んでいる「㊦㊧㊨のクローバー」を例に、マークに込められた思いが大切であることを伝える。 ・教師が言葉を補いながら、マークを提案した子どもたちに提案の理由をていねいに説明させる。 ・周りの子どもたちが提案理由をじっくりと聞くことができるように言葉掛けをする。 ・二人組で考えを交流する時間を設け、自分の考えや判断に自信をもつようにさせる。 	
3 話し合いをもとに自分なりに判断し、決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○やったあ。ぼくの選んだマークに決まった。うれしいな。 ○残念。わたしの考えたマークは選ばれなかったけれど、みんなが決めたマークだからいいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マークを決める前に、一人一人が納得できているか確認しておく。 	<p>【思】 学級生活を楽しくするために、クラスのマークについて考え、自分なりに判断している。 (観察)</p>
4 今日の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしは、今日の話し合いの中で、自分の意見が言えてよかったです。 ○ぼくは、みんなの意見を聞いて、自分で選ぶことができよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの発表をじっくりと聞き、肯定的な評価を返す。 	